

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2018年7月20日

野良仕事

点描、炎暑の畑

連日の猛暑。ラジオでは気象予報士が「生命にかかわる危険な暑さ」と連呼しています。極度の乾燥もあり、畑の野菜達も青色吐息。作柄への影響が気掛かりです。7月に入って10mm以上の雨が降ったのは一日だけ(7/20時点)。トラクターで畑を耕すと、土埃に包まれます。ひと雨欲しいところですが、雨雲が近づく気配はありません。生産者の多くが暑さのきつい日中を避け、早朝や夕方に野良仕事をこなします。記録に残るような酷暑の中、収穫に向けた管理が続きます。



9月に収穫する落花生畑では水が撒かれていました。落花生は水不足が不作に直結するので、かん水設備のある畑を選んでいます。



乾いた熱風が吹くとカラカラの土が吹き寄せられ、砂漠のように畑や道路の隅にたまります。



長ネギは暑さに大変弱く、三十℃を超えると生育が一気に鈍ります。乾燥すると葉を食害するアザミウマが増え、生育状況がさらに悪化…。炎天下の下、ネギはじっと暑さに耐えています。



ピーマンのハウスに張られた「遮光シート」。直射日光を遮り、ピーマンの焼けを防ぎます。